



ザンビアの経済概況・月報(2018年11月)

主なマクロ経済指標	2017年	2018年
1. 人口 (百万人)	16.59(2016)	-
2. 人口増加率 (%)	3.00(2016)	-
3. 失業率 (%)	41.2	41.2(2017)
4. 平均寿命 (年齢)	51.1(男性)/54.4(女性)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	21,064(2016)	-
6. GDP成長率 (%)	4.2(proj)	4.0(proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,360(2016)	-
8. インフレ率 (%)	6.1(Dec)	7.8(Nov)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	201.18(Dec)	215.37(Nov)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	-568.3	-1,382.34*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	128.58*4	97.76*3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	8,150.1	7,671.86*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	179.54*4	146.51*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	8,718.4	9,054.20*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	50.96*4	48.75*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-932(2016)	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	37 (2016)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	469(2016)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,430(Dec)	1,629(Sept)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	7,900(Dec)	9,510 (Sept)
21. 為替レート (対米ドル)	9.53ZMW	11.85ZMW (Nov)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	10.25 (Dec)	9.75 (Nov)

※1) 内の年月は、その年あるいは月の確定値/予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

*1	GDP at market prices (Current USD)
*2	2018年1月から10月までの貿易額。1USD=10.17ZMW (2018年10月までのザンビア中央銀行為替相場月平均)を用いて換算
*3	2018年1月から10月までの貿易額。1USD=110円 (2018年10月までの日銀基準外国為替相場月平均)を用いて換算
<2018年10月>	
主要輸出品目: 電解精錬用の銅陽極/精製銅陰極/エレクトロウオン銅陰極/粗銅/硫酸/発煙硫酸/金銀塊(半製品)	
主要貿易相手国(輸出): スイス 41.0%, シンガポール 12.5%, コンゴ(民) 11.0%, 中国 10.7%, 南ア 5.4%, その他 19.5%	
主要輸入品目: コバルト酸化物及びコバルト水酸化物/工業用のコバルト酸化物/銅精鉱/硫黄/飛行機及びヘリコプターの部品/軽油	
主要貿易相手国(輸入): コンゴ(民) 26.2%, 南ア 24.6%, 中国 11.8%, アラブ首長国連邦 6.0%, クウェート 4.4%, その他 27.0%	
*4	1USD=112円 (2017年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
<出典>	
1, 2, 5-7, 20: World Bank / 3: Zambia Labour Force Survey Report, 2017 (CSO & Ministry of Labour and Social Security) / 4, 16: The World Factbook (CIA) / 8, 9, 10, 12, 14: Monthly Bulletin (CSO) & EIU Country Report / 19, 21: Country Report (EIU) / 11, 13, 15: 日本国財務省貿易統計 / 17, 18: UNCTAD / 21, 22: Bank of Zambia	

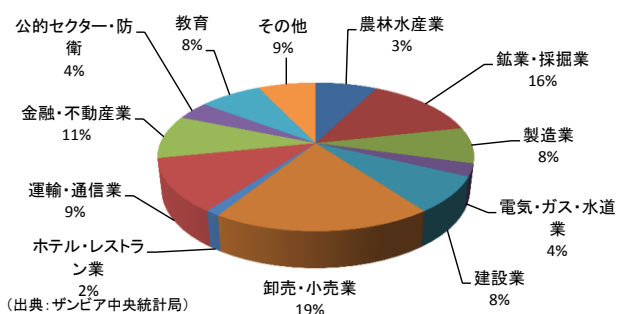
＜ザンビアの税制度～鉱業関連～＞

(出典: ザンビア歳入庁(ZRA), ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 採掘権利(Mineral Royalty):**
4-6%(ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎に、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、採掘や鉱業関連の活動に必要とされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。

GDPセクター別構成(2018年第1・第2四半期)



主要な経済ニュース(11月)

1. ザンビア政府、経済成長に全力(Daily Nation, 6日)

ヤルマ商業貿易産業大臣は、政府は鉱業だけでなく経済の優先分野へ様々な投資を誘致することにより、ザンビアを維持していくと述べた。また、同大臣は、2030年までに多角化された経済を達成することは政府の望みであり、国が鉱業以外のセクターから更なる利益を上げるため、経済多角化プログラムに注力しているとも発言した。

2. 銅生産量、90万トンに達する見込み(Daily Mail, 9日)

チャンダ鉱山鉱物開発次官は、国際市場における銅価格の好調と新規鉱山の開所に伴い、今年の銅生産量が90万トンに達する見込みであると述べた。現時点でザンビアは、平均して年間87万トンの銅生産量を記録している。また、同大臣は、今後重大な世界的変化がなく、全ての関連要素が現状を維持した場合、ザンビアの銅生産量は2020年までに100万トンに達するであろうと発言した。

3. 国際開発協会(IDA)、ザンビア経済に12億米ドル投入(Daily Mail, 13日)

ザンビアは、経済の様々な分野における19のプロジェクトを通して、世銀から約12億米ドルの支援を受けた。これらのプロジェクトは、国際開発協会(IDA)及び信託基金により賄われる。世銀の2018年ザンビア・プロジェクト情報によると、最終的な支援総額は、11億5千万米ドルに上り、農業、教育、エネルギー、環境、保健、社会保障、貿易、運輸、水及びガバナンスの分野に充てられた。

4. IMFと政府は諮問会議を実施(Times of Zambia, 14日)

グラ团长率いるIMFミッションは、最近の経済状況及び今後の見通しについて協議するため、11月5日から9日にかけてザンビアを訪問した。同团长は、「会議では、現在国会において協議されている2019年予算案の主要要素に加え、成長を維持しつつ、財政及び債務持続性を再建するために当局が実施する政策及び戦略について話し合った。これらのテクニカルな協議は、2019年初頭に予定されている4条協議ミッションに備える上で重要となる」と述べた。また、同团长は、「ミッションチームは、ムワナカトウエ財務大臣、カリヤリヤ・ザンビア中央銀行総裁、同銀行高官、政府高官、国会議員、民間企業代表、市民社会組織及び援助国・機関と面会した」と発言した。

5. 堅固なマクロ経済環境が重要(Daily Mail, 16日)

チクバ財務次官は、ユーロ債が返済期限を迎える際に財政立て直しをしやすいようにするため、マクロ経済環境の強化に努めていると述べた。ザンビアは、7億5千万米ドル、10億米ドル、12億5千万米ドルのユーロ債をそれぞれ2012年、2014年、そして2015年に発行しており、それらはそれぞれ2022年、2024年、そして2027年に返済期限を迎える。同次官は、「経済は安定している。為替レートは落ち着いており、供給状況も好調であり、今後の成長を促進させるであろう」と発言した。また、同次官は、ユーロ債返済に向けて、政府は1千万米ドルを減債基金に投入したと述べた。

6. 10月の政府歳出は61億クワチャ(Times of Zambia, 19日)

様々な分野において、政府は先月61億クワチャを支出した。ムワナカトウエ財務大臣は、対外債務返済に15億クワチャ、給与支払いに24億クワチャ、そして補助金に11億クワチャが充てられたと述べた。また、同大臣は、学資ローン及び奨学金に約1億クワチャが支出され、未払い金の精算及び現行のeパワチャー実施のために、1億7千3百万クワチャが農民投入支援プログラム(FISP)に対して支出されたこと述べた。

7. 民間企業が経済をけん引ーウィナ副大統領(Daily Mail, 30日)

ウィナ副大統領は、民間企業は経済成長にとって効果的な役割を果たし、政府が産業化及び雇用の創出を促進させる一つの方法として、民間企業の参画が挙げられると述べた。また同副大統領は、政府は民間企業の参画及び成長を促進させる環境を整えており、民間企業は官民パートナーシップの形態を活用するべきであると発言した。